



①馬毛島を失う市民に対しての損害賠償を国及び八板俊輔（個人）に対して求めるよう、西之表市長に請求する（義務付け）

②馬毛島の市道廃止は無効であることを確認する

③市道廃止処分を取り消す

※八板俊輔西之表市長の行った馬毛島中学校跡地売却、市有地売却、市道廃止が違法、不当であり裁量権を逸脱・濫用するものであると訴えている。

馬毛島計画「黙認」



岸信夫防衛相に要望書を手渡す八板俊輔市長(右から2人目) 11日、防衛省

西之表市長

交付金受ける意向

西之表市馬毛島への米軍機訓練移転と自衛隊基地整備計画を巡り、同市の八板俊輔市長は3日、防衛省を訪れ、基地整備に伴う米軍再編交付金や自衛隊員の居住について「特段の配慮」を求める要望書を岸信夫防衛相に手渡し、交付金を受ける意向を初めて表明した。「計画に同意できない」とする自身の反対の立場を面会では明らかにせず、その後の会見でも「しかるべき時に考えを示す」と述べるにとどめ、事実上の計画「黙認」に転じた形だ。

揺れる馬毛島

昨年未だに総額3千億円超の基地整備関連経費を計上した2022年度政府予算案が閣議決定され、1月に馬毛島が基地の「整備地」と目米間で確認したことを受け、八板市長は「問題が新たな段階に進んだ」と指摘。賛否による市民の分断が懸念される中、「現実的対応」で基地整備を前提とした国との協議を進める方針にかじを切ったとみられる。

面会は約15分で公開された。八板市長は、1月に実施した市内51団体の意見聴取で、整備工事に伴う雇用増や交付金による市政発展、隊員の居住で人口が増えるといった経済効果への

期待が多くあったと説明。一方、将来的な軍事拠点化や漁場、自然・文化の喪失、騒音への不安もあり、「安心安全対策を目に見える形で措置することが必要」と訴え、国と市が協議する場の設置を要望した。

岸防衛相は、協議を通じて不安解消に努めると応じ、「要望のあった再編交付金など最大限配慮するよう検討する」と明言。「防衛省として地元の声を受け止め速やかに事業を進めたい」と整備の加速を強調した。面会後の会見で八板市長は「市民の懸念に対応するため協議を通じ材料を整える

外堀埋まり 現実路線へ 西之表市の八板俊輔市長が米軍再編交付金を受け取る意向を初めて示したのは、防衛省が馬毛島への自衛隊基地整備計画の実現に向けて動きを加速させる中、歯止めを掛けた手だてを見いだせなかったからと見える。国に外堀を埋められて手詰まり感が否めず、現実的な対応にかじを切らざるを得なかった格好だ。

連施設整備案が公になった。主要施設、南種子両町にられ、市民が人口効果を期待する際3市町に分散。市之表は失うものばかりではない」との危言を、市長や市役を問う声が上がった。1月、馬毛島の「整備地」に正た市に伝えられ長が姿勢も変化。意見を聞く」と市内51団体との面会だ。これを「方針」と見る向きは多

一定の考えをまとめた」とし、自身の「不同意」とする立場については明言を避けた。

八板市長は2017年3月、計画反対を訴え初当選以降、賛否を明らかにしていなかったが、20年10月、「失うものの方が大きく同意できない」と「反対」の立場を示した。21年1月の市長選では、計画容認派候補を144票の僅差で破り再選した。(吉松晃子)

西之表市の八板俊輔市長が米軍再編交付金を受け取る意向を初めて示したのは、防衛省が馬毛島への自衛隊基地整備計画の実現に向けて動きを加速させる中、歯止めを掛けた手だてを見いだせなかったからと見える。国に外堀を埋められて手詰まり感が否めず、現実的な対応にかじを切らざるを得なかった格好だ。

西之表市の八板俊輔市長は7日、同市馬毛島での自衛隊基地建設と米軍空母艦載機陸上離着陸訓練(FCLP)を移転する防衛省の計画について、「米軍訓練のための施設整備が目的。現行の日米地位協定の下では一度基地を容認すると、米軍の行動に歯止めがかけられず、基地被害の拡大が懸念される」と指摘。「施設整備で失うものの方が大きく、首長として同意できない」とし、計画への反対を表明した。賛否を明らかにするのは初めて。今後は各種許可権を持つ県の対応も焦点になる。



会見で馬毛島への自衛隊施設整備計画に反対を表明する八板俊輔市長(7日午前10時20分、西之表市役所)

揺れる馬毛島

8月7日に同省が示した基地整備計画の説明。市長が送った4項目の設に理解を求めた一

質問書に、防衛省から回答があったことを受け、市役所で記者会見した。

回答書は馬毛島の地理的有用性を示して建設に理解を求めた一

方、騒音の影響や再編交付金の見込み額、運用開始の詳細な工程など、市民の関心の高い項目については、ほとんど明示されず、八板市長は「住民が判断できる正確な情報をそろえる狙いで国と対話を重ねてきたが、現段階でも不明点は払しょくされていない」と述べ、「一市民の理解が不十分のまま、なし崩し的に計画を進められる懸念がある」と不同意の理由を説明した。

また一部市民が期待

強い台風14号は7日、発達しながら日本の南の海上を西寄りに

県本

2020年10月 「静かで豊かな環境を守り、地域本来の力を信じて進む道が、常に私たちの目の前に開かれています」 「失うものの方が大きいと考えます」 「基地経済に依存しないまちづくりを推進することこそ、持続可能な社会への希望があります」 「国の計画に、地元首長として『同意できない』との判断に至っています」

西之表市長

自衛隊基地建設に反対

米軍の訓練拡大懸念

西之表市の八板俊輔市長は7日、同市馬毛島での自衛隊基地建設と米軍空母艦載機陸上離着陸訓練(FCLP)を移転する防衛省の計画について、「米軍訓練のための施設整備が目的。現行の日米地位協定の下では一度基地を容認すると、米軍の行動に歯止めがかけられず、基地被害の拡大が懸念される」と指摘。「施設整備で失うものの方が大きく、首長として同意できない」とし、計画への反対を表明した。賛否を明らかにするのは初めて。今後は各種許可権を持つ県の対応も焦点になる。

(23面に関連記事)

2020年10月 「静かで豊かな環境を守り、地域本来の力を信じて進む道が、常に私たちの目の前に開かれています」 「失うものの方が大きいと考えます」 「基地経済に依存しないまちづくりを推進することこそ、持続可能な社会への希望があります」 「国の計画に、地元首長として『同意できない』との判断に至っています」

2022年2月 防衛省に、再編交付金と宿舎建設に特段の配慮を求める八板市長
2022年9月 「まず私は基地建設に賛同する市民を想います」

馬毛島交付金30億円

本年度分
2億4千円増
防衛省「総額変わらず」



防衛省は1日、西之表市馬毛島への米軍機訓練移転と自衛隊基地整備に伴い、種子島1市2町に通知した2025年度分の米軍再編交付金が前年度比2億4400万円増の計30億7600万円になると発表した。同省は「工期が3年伸び、工程を精査した結果、増額となった。交付する10年間の総額は変わらない」と説明している。

内訳は西之表市22億5千万円(前年度比1億7800万円増)、中種子町5億6300万円(同4500万円増)、南種子町2億6300万円(同2100万円増)となる。新規は7事業で、看護専門学校のサテライト校設置や小中学校特別教室の空調整備などを想定しているが、個別の事業費は公表していない。

中種子町は種子島中央体育館と種子島中央武道館の改修工事にそれぞれ約1億7800万円と約6500万円、地域防災計画の見直しに約1500万円を充て

る。南種子町は特産品開発センターの新築に約1億500万円、農家の肥料など購入補助に約6900万円、漁業の燃料購入補助に約800万円を充てた。

再編交付金は防衛施設の面積や整備状況などに基づき算定する。自治体側は幅広い事業に充てられる半面、首長の反対などで受け入れが進まなければ国の判断で減額・停止される。(永山一樹)

再編交付金 4年で75事業立案

西之表市 22事業 年度末完了



を立案したと報告した。このうち22事業は3月末までに完了する見通し。

同交付金は、自治体の協力度合いや基地整備計画の進展に応じ、交付期間などが決まるとされ、馬毛島の場合は原則10年間。防衛省の発表によると、最大交付

馬毛島交付金28億円

種子島
3市町
整備開始で大幅増

防衛省23年度

防衛省は3日、西之表市馬毛島への米軍機訓練移転と自衛隊基地整備に伴い、種子島1市2町に通知した

2023年度分の米軍再編交付金が計28億3200万円になると発表した。馬毛島では1月以降、滑走路や港湾施設など本格的な整備が始まっており、昨年度分の計10億6200万円を大

きく上回った。内訳は西之表市に20億7200万円、中種子町5億1800万円、南種子町2億4200万円。西之表の八板俊輔市長は計画への賛意を明言している

このほか再編関連訓練移転等交付金として、昨年11月の日米共同統合演習「キーン・ソード」で米軍輸送機オスプレイが訓練した奄美市と伊仙町に、それぞれ2400万円を通知した。鹿屋市で昨年11月に始まった米軍無人機MQ9の一時展開では、同市への特定防衛施設周辺整備調整交付金が増額されるとみられる。(吉松晃子)

西之表市 再編交付金まず45事業 来年度 最大20億7100万円試算

西之表市は22日発表した2023年度一般会計当初予算案に、米軍再編交付金を使った45事業計17億1506万円を盛り込んだ。23年度の最大交付額は20億7100万円程度と試算しており、残りについては事業計画が固まり次第、補正予算案に計上する方針。

再編交付金は馬毛島への米軍機訓練移転に伴う自衛隊基地整備の進展などに応じ、国が支給する。

「社会基盤・環境」「防犯・防犯」「地域産業」「子育て・教育」「文化・スポーツ」「健康・福祉」「行政運営・市民協働」の7分野に活用し、予算額最大は「地域産業」の農道整備1億600万円。

ちづくりに関し意見を踏った上で事業内容を決めたこと、事業数の最多は「子育て・教育」の15だった。

一方、八板俊輔市長が基地整備について賛否を明言していない中で当初予算案に再編交付金事業を計上したことに、基地整備に反対する市民から反発を招く可

能性がある。八板市長は22日、「法令に基づいて交付がされるので事務手続きを進めた。賛否とは切り離している」と従来の考えを繰り返した。(緒方隆)

馬毛島交付金28億円 整備継続で昨年度と同額

防衛省発表



防衛省は1日、西之表市馬毛島への米軍機訓練移転と自衛隊基地整備に伴い、種子島1市2町に通知した2024年度分の米軍再編交付金が計28億3200万円になると発表した。馬毛

島では本格的な工事が続いており、昨年度と同額の交付となった。

内訳も昨年度と同様で西之表市20億7200万円、中種子町5億1800万円、南種子町2億4200万円。防衛省によると、馬毛島北東部の仮設棧橋2本が3月に完成した。資材や

燃料、重機を運ぶ拠点となり、滑走路の造成などが加速する。

24年度当初予算で西之表市は交付金を見込み、「社会基盤・環境」「防災・防犯」「地域産業」「子育て・教育」など6分野に充てた。前年度からの継続事業は23、新規が19となった。八板俊輔市長

賛成・反対では問題は解決しないと賛否は示さず、現実に対応するとして、馬毛島建設バブル、再編交付金バブルにどっっぷり浸かって、自衛隊には協力姿勢の八板市長。それを公約違反というのですよ!!!

市民の分断回避も役割

西之表市馬毛島の米軍空母艦載機陸上離着陸訓練（FCLP）を伴う自衛隊基地整備は、12日で着工から3年が経過した。昨年2月の市長選で3選された八板俊輔市長（72）に、島民生活への影響や基地・訓練との向き合い方を聞いた。



「着工から3年。どのような変化があったか。」

「馬毛島と合わせて6千人の作業員が滞在し、飲食や建設、物流など経済効果は大きい。全般的に人手不足が起きている。交通量の増加や医療逼迫といった問題もある。西之表港の駐車場不足などは防

八板・西之表市長に聞く



やいた・しゅんすけ 1953年、西之表市生まれ。早稲田大学卒。2012年に朝日新聞社を早期退職し帰郷。再選挙となった17年市長選で初当選。21、25年の市長選で再選し3期目。

「衛省や事業者へ改善要望を続け、さわしい使い道がある」と考え、主張してきた。その思いを明言したが、現在は賛否を備に向けて国が予算を組み、明らかにしていない。市議会で賛成の意見書が可決（当初は）『基地よりも』（2021年）されたことな

国に定期的協議を打診

「首長は運動家ではない。住民を引っ張っていくと同時に、分断させないことも役割。対立をおおったり、片方に加担したりせず、調整や仲介をすることが重要だ」

「各年度の交付額に合わせ、過度に依存しないようにしている。交付期間は原則10年だが、馬毛島は工期が3年延長されており、交付も延長が必要だろう」

「一元市有地での自衛隊員宿舎建設がごみ出土で止まっている。見直しは。」

「現在地での工事再開に向けて調整している。できるだけ早く進める」

「聞き手・大川源太郎、撮影・西悠宇」

馬毛島基地 「隊員と共存共栄図る」

八板市長、賛否は示さず

西之表市の八板俊輔市長は29日開会した市議会定例会の所信表明で、馬毛島の



自衛隊基地整備について「国は立ち止まる気配を見せない」と指摘する一方、今後の方針を巡っては「種子島駐在の自衛隊員と共存共栄を図る」と述べた。賛否には踏み込まず、「正確な情報収集と市民への判断材料の提供、最善の道の選択が基本だ」と従来の考え方を繰り返した。

来年2月に次期市長選を控え、2期目で最後の所信表明。現実的な対応として「共存共栄」を打ち出しつつも、国の対応に一定の不信感をにじませた。

馬毛島を巡り、国が島の大半を持つ民間地権者と売買に合意した2019年11月を起点に「激動の5年」と表現。「(23年1月の)着工前後の発言で市民に十分な理解が得られていなかった」と改めて陳謝した上で「賛成、反対の二者択一で

国の進め方 不信にじむ

西之表市馬毛島の自衛隊基地整備を巡る八板俊輔市長の所信表明は、「賛否両面にらみ」の姿勢を打ち出した内容と言え、再び「反対」に立ち返る可能性を残すことで、市民生活に影響を与える国の進め方にくぎを刺し

解決できる問題ではない」と強調した。

賛否の明言を避けた理由について、八板市長は本会議終了後の取材に「着工後に生じた問題の対応を優先している。中立という立場とも違う」と説明した。

八板市長は過去2度の市長選で基地整備に反対の立場を取った。しかし、22年1月に日米両政府が米軍機訓練移転を伴う基地の整備地に馬毛島を正式決定したことで「新たな局面に入った」とし、現在まで賛否を明言していない。

（緒方隆）

「文化」や深夜訓練を避けるよう国に求めてきた。ただ現時点で担保は得られておらず、こうした国の地元との向き合い方が不信を拭えない一因となっている。

とはいえ、所信表明の意図が市民に伝わるかは疑問が残る。来年2月の次期市長選には、ほかに新人6人が立候補の意向を表明。それぞれ基地整備への考え方が明確だけに、3期目を目指す八板氏の発言には「舌足らず」の感が拭えない。着工前後を担った行政の長として、明確な説明が求められる。

（緒方隆）



2026年1月10日
馬毛島で、国有地への立ち入りを交渉する弁護団事務局の塚本和也弁護士。

2026年1月12日
着工3年集会

「自衛隊イラク派兵違憲訴訟」で違憲判決を勝ち取った、川口創弁護士が講師。馬毛島基地反対裁判の弁護団にも加わる。



鹿児島地裁前で
マゲシカスタンディング



鹿児島市天文館通りで
スタンディング







琉球弧の島々を最前線／戦場の候補地とする、南西重視の再編と大軍拡。中国の脅威が叫ばれ、尖閣諸島や台湾海峡の危機が演出されるが、尖閣・台湾有事に備えるためではない。地对艦ミサイル部隊を主力とする、挑発的／攻撃的な海峡封鎖を主目的とし、米軍と共に、西太平洋地域での覇権強化を目指す。

自衛隊の南西シフト

自衛隊のミサイル配備に加え、琉球弧を含む「第1列島線」に、米陸軍・海兵隊の地对艦ミサイルや中距離弾道ミサイルの配備も計画。「精密攻撃ネットワーク」構築が目論まれる。平和な島々を使って、巨大な軍事対立構図が描かれつつある。

地对艦ミサイル射程延伸計画
12式誘導弾、現行の200kmから延伸目標→当面900km、将来1500kmに

島嶼防衛用高速滑空弾部隊 琉球弧に配備計画
2025、早期装備型実用化、2028、極高速滑空弾実用化

スタンド・オフ・ミサイル、巡航ミサイル（日本版トマホーク）の開発、配備計画
→戦闘機、艦船、陸上から統合運用

下地島空港
3千メートルの滑走路
「不沈空母化」への動き

その他 琉球弧の全ての民間空港、
港湾の軍事利用が検討されている

与那国島 2016.3.28
「与那国駐屯地」開設（陸自）
沿岸監視部隊 他約160人配備
巨大弾薬庫▶今後ミサイル部隊の配備も？
●東西2ヶ所にレーダー施設新設
●移動警戒隊、電子戦部隊等配備計画

石垣島 2019.3.1 着工
新基地建設工事中（陸自）
地对艦／対空ミサイル部隊、警備部隊 他
600人配備計画
※2022年度内開設が目論まれる！

宮古島 2019.3.26 ※現在も工事中
「宮古駐屯地」開設（陸自）
地对艦／対空ミサイル部隊、警備部隊 他
●他、島中で軍事化… 約700人配備
2021.4 ※現在も工事中
「保良訓練場」（ミサイル弾薬庫）開設

沖縄島 「在日米軍基地の7割」の他
陸／海／空自、大幅に増強
陸自 混成団の第15旅団への昇格など
●全ての米軍基地、日米共同使用へ
●水陸機動団、米軍基地への配備計画
●地对艦ミサイル部隊（陸自）配備計画

日本全体でも（↓埼玉県の一例）
入間基地の拡張と自衛隊病院建設
南西シフト態勢の一環…琉球弧での有事を想定した後方輸送体制。（建設中）

佐世保 …相浦駐屯地 他
日本版海兵隊…水陸機動団（陸自）
2100人規模で発足（2018.3）
「島嶼防衛作戦」では「離島奪回」を担う。オスプレイ17機 水陸両用車52両他
2019.3.26 「崎辺分屯地」開設

馬毛島 …現在は無人島
2021.3 アセス手続き始まる
陸海空自+米 統合巨大基地化計画
●南西シフトの兵站 輸送 機動展開拠点
●日米のFCP（艦載機離発着訓練）
●島嶼戦争を想定した各種訓練、等…
2本の滑走路、弾薬庫、巨大軍港を備えた、全島基地化が目論まれる。

奄美大島 2019.3.26
「奄美駐屯地」「瀬戸内分屯地」開設（陸自）※現在も工事中
地对艦／対空ミサイル部隊、警備部隊 他
●地中巨大弾薬庫 建設中 560人配備
●移動警戒隊（空自）配備計画
●電子戦部隊（陸自）配備計画
●湯湾岳に通信所施設（空自）建設中
●兵站拠点化+古仁屋港等の軍港化計画
●毎年島内全域で行われる大規模演習「鎮西」（江仁屋離島の着上陸訓練他）

自衛隊の南西諸島等
配備・増強計画

※配備人数／部隊はあくまで計画の第一段階。今後、数倍規模への拡大が予想される。

長射程ミサイル・弾薬庫の配備計画



: 弾薬庫
 : 長射程ミサイル配備地
 : トマホークが配備されるイージス艦
 ※12SSM=12式地对艦誘導弾能力向上型
 防衛省提出資料から

弾薬庫さらさら7棟

大分分屯地 32年度までに

防衛省は22日、陸上自衛隊大分分屯地(大分市鷺野)で2032年度までに大型弾薬庫7棟を新たに整備する考えを明らかにした。11月末から工事が始まった2棟と連動した計画で、10年間のうちに計9棟を新設することになる。台湾有事などを念頭に、最前線と目される南西諸島へ物資を供給する後方支援拠点としての位置付けが高まりそうだ。突然の増設計画に、地元では驚きと戸惑いの声が上がった。

安保のいま 大分・九州

国は昨年12月に策定した安全保障関連3文書で、南西諸島などの防衛力を強化するため、戦闘継続能力(継続能力)の向上を掲げた。32年度までに全国で弾薬庫を約130棟増やす方針で、大分分屯地の計画は

その一環。現在は全国に約1400棟ある。

政府は22日に閣議決定した24年度予算案に弾薬庫の関連経費として約222億円を計上。大分分屯地に関して、新設する7棟のうち3棟の整備に要する調査・設計費を盛り込んだ。

防衛省の担当者は「保管する弾薬の種類や量は明らかにできない」と話した。地元住民からは万一方の際の攻撃リスクを心配する意見が聞かれた。

大分市敷戸東町の自営業



の男性(66)は「2棟だけだと思っていたので驚いた。保管する弾薬が増えれば、それだけ有事の際に狙われる危険性が高まるのではないかと指摘した。同市敷



陸上自衛隊大分分屯地。国道10号を挟み、右上には住宅団地の巨野原ハイツがある=10月、本社チャーター機から撮影・首藤洋平

陸上自衛隊大分分屯地で11月29日に始まった工事では、2026年度までに大型弾薬庫2棟を完成させる。反撃能力(敵基地攻撃能力)の手段となる長射程ミサイルなどの保管が見込まれている。西に約25キロ離れた陸自湯布院駐屯地では24年度中にミサイル連隊が新たに発足する予定で、一体化した運用が予想される。

か起きたらどうするのか。怖い」と話した。(大塩信、宗岡博之)

「有事に標的」不安の声

九州・沖縄の防衛力を強化する「南西シフト」が進む中、大分県は陸上自衛隊ミサイル防衛の重要拠点となっている。南西方面のミサイル部隊の司令部が置かれ、反撃能力(敵基地攻撃能力)の要となる長射程ミサイルを保管するとみられる大型弾薬庫の建設も進んでいる。一方、住民からは「有事に標的」と不安げな声が出る。

「最新の装備を使いこなし、第2特科団は西部方面特科防衛任務達成できる実力が隊から格上げされた。特科団が必要だ。6月1日、印本部 創設は1954年に北海道にある田市の湯布院駐屯地 設置された第1特科団以来、開かれた第2特科団創設記 70年ふりとなる。3月に沖縄急行して、団長の伊藤久史陸 本島に配備された対地対艦ミサイル部隊など5つの部隊

ミサイル拠点の大分

からなり、2024年度末までに一つ対艦部隊をつくり、2400人規模となる。大型弾薬庫は大分市の大分分屯地で工事が進む。32年度までに9棟を設けるが、周辺には住民が多い。近くに住む宮成昭徳さん(74)は「子や孫の世代にたつて敵の標的になる恐れがある。どんな事情があっても反対だ」と語気を強めた。大分は昔と、沖縄に駐留する米海兵隊が共同訓練をするのに地が良い。日出生(台場) 田布市(中)では、昨年、日米訓練が初めて年2回実施された。7月28日からは日米共同訓練

祝園弾薬庫問題 学習会で考える

11日 住民団体が主催

陸上自衛隊祝園分屯地(精華町と京田辺市)の火薬(弾薬)庫新設計画についての「大学学習会」を、住民団体が11日午後2時からむくのきセンター1(精華町下粕)でひらく。

演し、質疑応答もある。主催の「京都・祝園ミサイル弾薬庫問題を考える住民ネットワーク」が、どのような敵基地攻撃用ミサイルが保管されるのか▽危険ではないのか▽1960年に当時の防衛庁の責任者と精華町長とが交わした確認書とはなにか―について問題提起したり考えを發表したりもする。

入場無料。問い合わせは住民ネットワークの電話(090・3627・2925)へ。(下地毅)

大分に弾薬庫増設計画 京都にはミサイル弾薬庫新設



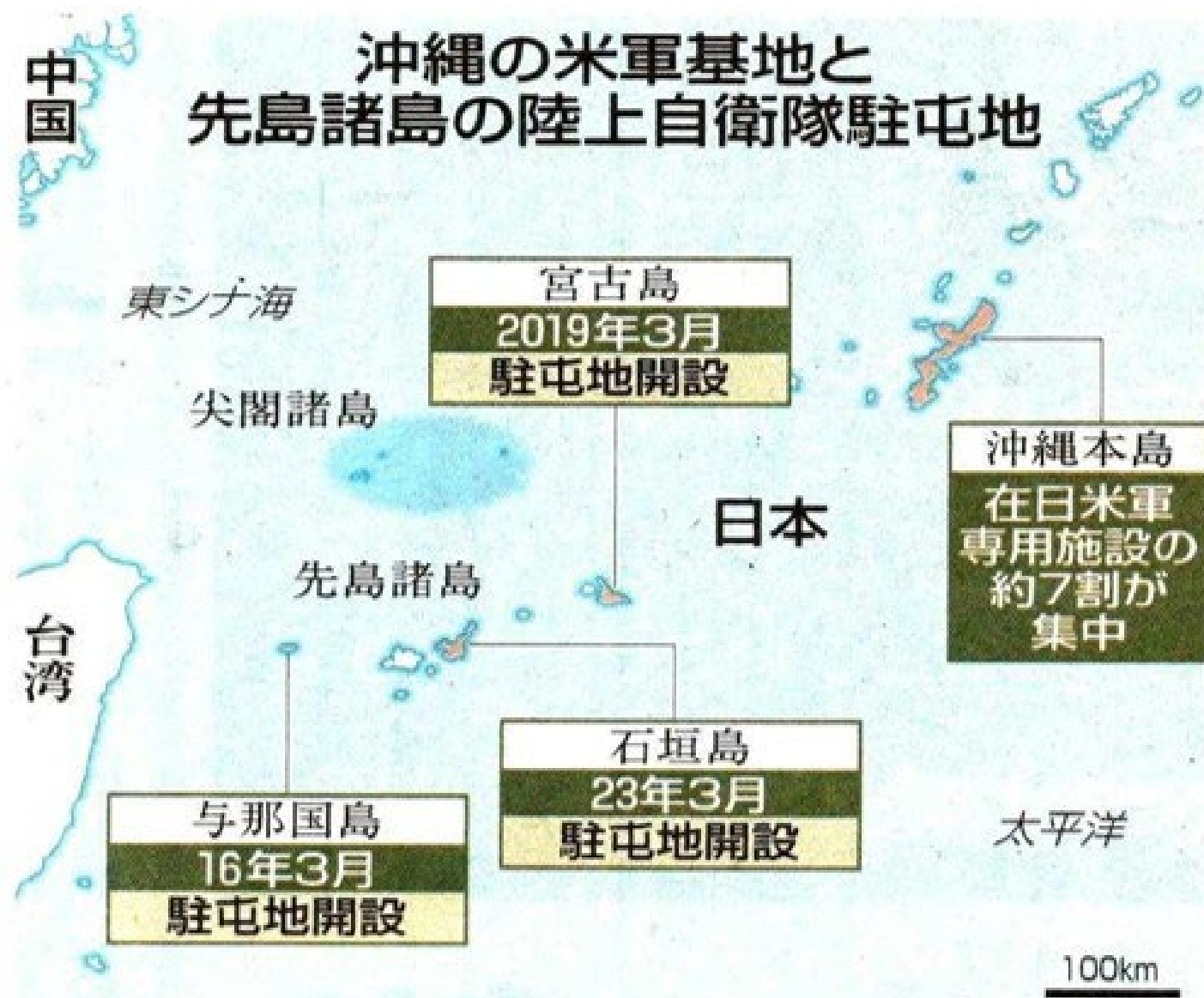
陸上自衛隊湯布院駐屯地で開かれた第2特科団創設記念式。6月、大分県由布市

陸自駐屯地に米補給拠点

沖縄タイムズ

日米両政府は台湾有事を想定し、米軍が陸上自衛隊駐屯地には、昨年1月の安全保障協議委員会の(2プラス2)の合意に基づき、共同訓練が初めて実施され

日米が構想 台湾有事想定



先島で訓練強化 住民懸念も

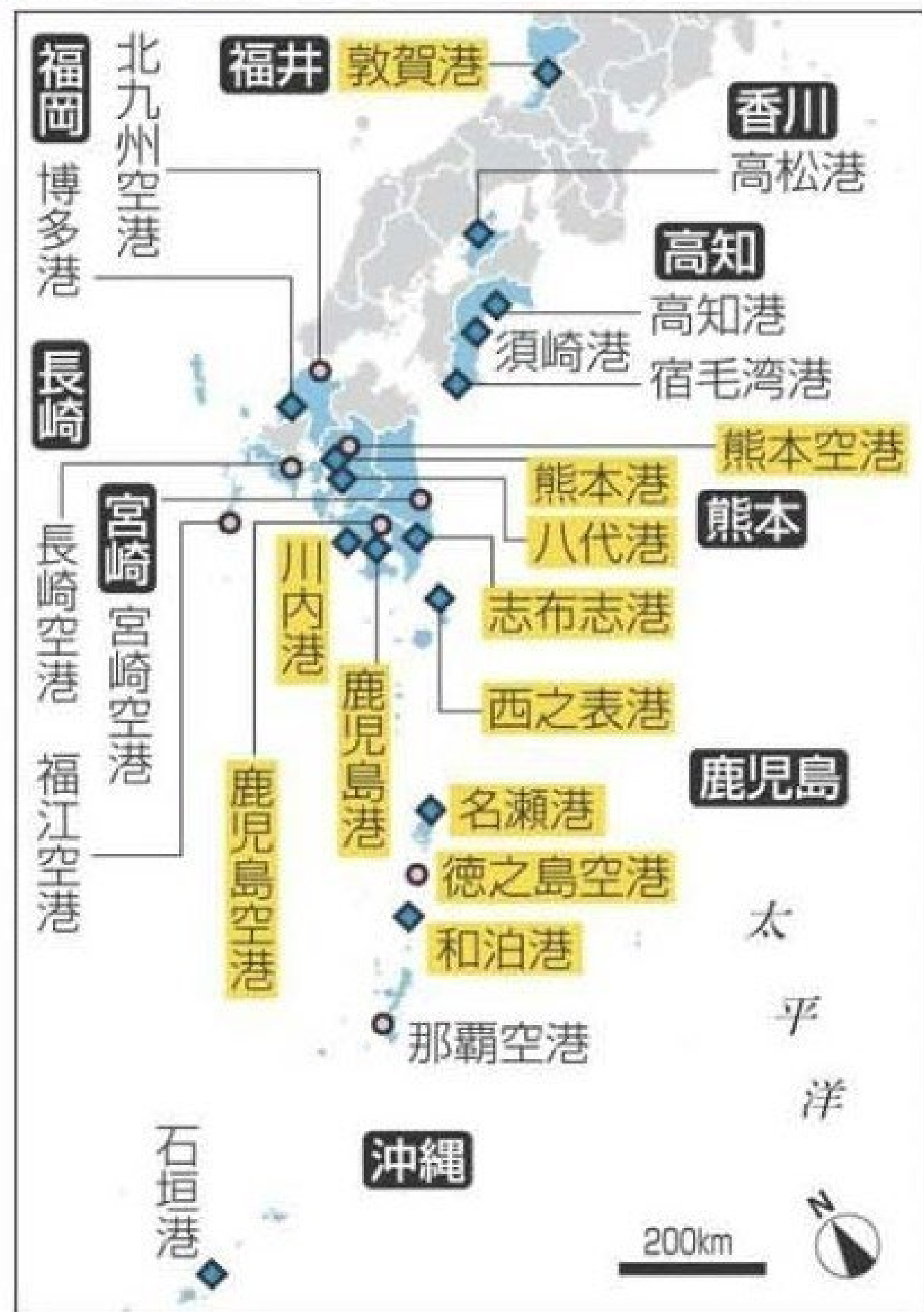
た。2024年も南西諸島を中心に日米の軍事一体化の流れは続くと思われる。戦闘に巻き込まれるとの懸念が住民に根強い中、米軍の拠点構想が非公表のままなし崩し的に進展する恐れがある。

拠点構想は台湾有事を想定した日米共同作戦計画案の一部とみられ、構想も含め案自体は公表されていない。2プラス2で、南西諸島の施設の共同使用や自衛隊と米軍の共同訓練を増加させることで一致したのは、中国軍に対する補給への懸念が背景にある。

米海兵隊は昨年11月15日、キヤンプ・ハンセン(金武町など)の部隊を改編し、即応性に優れた「第12海兵沿岸連隊(12MLR)」を新設した。MLRは台湾有事が差し迫れば、先島諸島などの島々に部隊と弾薬を配備する「事前集積」という戦術構

全国の特定利用空港・港湾

○ 空港 ◆ 港湾
追加指定



鹿屋で佐賀オスプレイ訓練

陸自、九州各県展開へ

陸上自衛隊佐賀駐屯地(佐賀市)の輸送機V22オスプレイ1機が26日、鹿屋市の海自鹿屋航空基地に飛来した。鹿屋基地と先月開設した佐賀駐屯地を行き来する訓練は初めて。搭乗員の操縦法習得と練度の維持・向上を目指し、今後も九州各県で同様の訓練が続く。



鹿屋航空基地に2回目の着陸をする陸上自衛隊の輸送機V22オスプレイ。26日午後0時25分、鹿屋市(石本のえる撮影)

安保 激変
@かごしま

26日午前11時40分ごろ、オスプレイ1機が東から進入し、プロペラを上に向けて回転翼機モードで鹿屋基地に着陸した。1度離陸した後、午後0時半ごろに再び飛来。約20分後、プロペラを前方に傾ける固定翼機モードで飛び去った。着陸した際に搭乗員の出入りもあった。

今回は出発地から目的地までの飛行に必要な基礎となる訓練。九州防衛局によると、鹿屋以外にも目達原駐屯地(佐賀県)、相浦駐屯地(長崎県)、築城基地(福岡県)などで訓練が計画され、目達原や相浦で既に始

まっている。陸自は12日、木更津駐屯地(千葉県)から佐賀駐屯地へオスプレイ全17機の移駐を完了した。2月に示した運用計画によると、佐賀空港には年間最大約4640回離着陸する。防衛省は、離島防衛の要

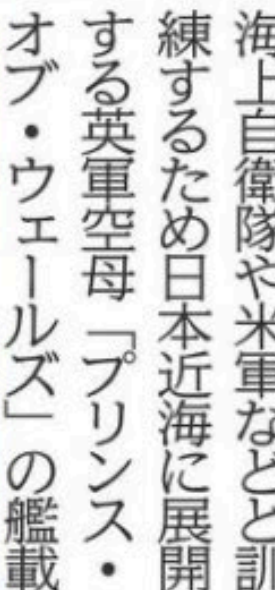
と位置付ける相浦駐屯地の水陸機動団と佐賀駐屯地の一体的な運用を図る。離着陸に滑走路が必要ない回転翼機の特徴と固定翼機の高速度を併せ持つオスプレイを使い、人員や物資を南西諸島へ迅速に展開する狙い。2023年11月には屋久島沖でオスプレイが墜落する事故が起き、搭乗員8人が亡くなった。県は今回の訓練について、住民の安心・安全対策や事故時の迅速な情報提供を陸自と九州防衛局へ要請した。9月には陸自と米海兵隊との実動訓練「レゾリュート・ドラゴン」で、日米のオスプレイ計11機が鹿屋基地で訓練する。(永山一樹、石本のえる)



英軍ヘリ窓鹿児島湾落下

F35B操縦士 長さ1.5メートル、幅2.5メートル 鹿屋航空港輸送後

英軍のヘリコプターAW101の操縦席左側の窓が10日午後2時40分ごろ、鹿児島湾に落下した。窓は長さ1.5メートル、幅2.5メートルで、見つかっていない。ヘリは鹿屋航空港(霧島市)へ緊急着陸した英軍戦闘機F35Bのパイロットを輸送するため飛来していた。防衛省によると、被害の情報は入っていない。(24面に関連記事) 防衛省によると、窓は鹿



屋市の海上自衛隊鹿屋航空基地から約12・9キロ西の鹿児島湾に落下したとみられる。窓の材質や重さ、厚さは分かっていない。ヘリは、海上自衛隊や米軍などと訓練するため日本近海に展開する英軍空母「プリンス・オブ・ウェールズ」の艦載機。同じく艦載機で、8月に鹿屋航空港に緊急着陸したF35Bの離陸のため9月10日、パイロットを乗せて空母を出発した。

午後1時40分ごろ、ヘリは鹿屋航空港に飛来し、午後2時半ごろ離陸。空母へ戻る途中に窓が落ちたが、安全に航行できると判断してそのまま帰艦した。F35Bは午後5時ごろ、空港を飛び立った。

鹿屋島県によると、10日午後8時15分ごろ、九州防衛局から県へ情報提供があった。防衛省は鹿屋市や漁

第30000号 2025年(令和7年)9月12日 金曜日



AW101と同型機のMCH101は2022年3月14日、鹿屋市の海上自衛隊鹿屋航空基地

霧島市、鹿屋市、海自鹿屋航空基地、鹿児島湾、鹿屋航空港、とみられる地点

英軍ヘリの窓が落下した

英軍ヘリの窓が落下した

安保 激変
@かごしま



訓練のため鹿屋島空港に着陸した航空自衛隊のF15戦闘機。22日午後1時40分ごろ、霧島市(田中公人撮影)

演習は20日から全国各地で始まった。防衛省によると、空自の部隊は四国沖で日本に侵襲する航空機や艦艇などに対処する訓練に参加。その際、攻撃や災害によって基地が使えない事態を想定して民間空港に一時的に退避・着陸し、燃料補給の内容となっている。F15は午後1時40分ごろ、2機が次々と飛来。約20分後にもう2機が着陸した。着陸後、民間機の手を借りて駐機場の南側へ移

動。4機が並び燃料を補給する様子が見られた。4機は午後3時20分ごろまでに飛び立った。定期便の合間を縫って離着陸し、民間機の運航に影響はなかった。

空港の展望デッキではF15にスマートフォンを向ける人々の姿もあった。訓練を見ていた霧島市四分の岩元卓爾さん(61)は民間施設での訓練について「やむを得ないかもしれないが、事故など不安はある。訓練の詳細を市民にも説明してほしい」と話した。

鹿屋島県には21日、県内離島の民間空港で那覇基地のF15・4機がタッチ・ア

HPに動画

2024年

自衛隊統合演習

4機着陸、燃料を補給

鹿空港で戦闘機初訓練

徳之島空港は練習機



米オスプレイが運んだ弾薬などを積み込む陸上自衛隊隊員
=10月23日、瀬戸内町の陸自瀬戸内分屯地

奄美の“要塞化”着々

弾薬庫増設・実戦意識し日米訓練

政府が掲げる南西諸島の防衛力強化で、奄美大島の「要塞化」が進んでいる。日米合同訓練が定例化する中、大規模な弾薬庫の増設や港湾整備に向けたボーリング調査が近々本格化し、ハード・ソフト両面で整備が急ピッチだ。異例の速さで増強が続く一方、島民への情報不足は、誘致する瀬戸内町では戸惑いの声も漏れる。



10月23日、瀬戸内町の中にある陸上自衛隊瀬戸内分屯地の弾薬庫区域。沖縄から飛来した米オスプレイの後方ハッチが開くと、陸自隊員が弾薬を次々と運び出し、負傷者役の隊員を乗せて飛び立った。

南西地域で初めて行われた陸自と米海兵隊の実動訓練「レゾリユート・ドラゴン」の一幕。日米の輸送機の飛来が続く、一体化を改めて印象付けた。



上空から望む陸上自衛隊瀬戸内分屯地。手前が隊舎区域、奥が弾薬庫区域
=10月10日、瀬戸内町節子(木下瑛司撮影)

島内での日米訓練はこれまでミサイル搬入など部隊展開が中心だった。今回は負傷者や物資の搬送といった後方支援などが目立った。陸自幹部は「米軍と調整しながら、複数の職種が関わる。より複雑な任務に

なっている」と説明する。参加人数は過去最多に増え、九州各地で実施した訓練では、攻撃を受けた滑走路の修復など実戦を意識した内容も増えている。

奄美、徳之島の空港には米オスプレイが相次いで緊急着陸した。これを「訓練の一環」とみる陸自関係者は少なくない。「離島は補給を断たれたら終わり。使える施設はあるだけあった方がいい」というわけだ。

日米間で協力を決めた民間施設の利用も広がる。地元が反発する中、新石垣空港(沖縄県石垣島)を使用。先月の訓練期間中、大分や

「軍都」再来に住民困惑

陸上自衛隊瀬戸内分屯地(瀬戸内町)から車で約20分。町の中心地・古「屋港」の須手地区では、自衛隊艦艇の輸送・補給拠点を整備する計画が進む。かつて国内有数の軍都だった町は「再起動」しそうな様相だ。

港灣周辺は町営フェリーが往来し、漁は一部の素潜りにとどまる。瀬戸内漁協の茂野拓真組合長(66)は「現状は調査に同意しただけで影響も規模も見えない。組合内にいろんな意見があり、将来像が示されれば総会を開いて慎重に判断したい」と話す。

調査に入る。「まだ検討段階」として具体的な規模は示していない。

奄美、徳之島の空港には米オスプレイが相次いで緊急着陸した。これを「訓練の一環」とみる陸自関係者は少なくない。「離島は補給を断たれたら終わり。使える施設はあるだけあった方がいい」というわけだ。

本土地と沖繩の間に艦艇の補給施設はなく、古「屋港」が要所となるのは確実視される。大型弾薬庫5棟の建設が続く瀬戸内分屯地ではさらに3棟を増設する。須手集落の堀純一(区長66)は「住民から内容を聞かれるが、ボーリングの話しか分からず説明しようがない」と困惑する。

港灣周辺は町営フェリーが往来し、漁は一部の素潜りにとどまる。瀬戸内漁協の茂野拓真組合長(66)は「現状は調査に同意しただけで影響も規模も見えない。組合内にいろんな意見があり、将来像が示されれば総会を開いて慎重に判断したい」と話す。

島まるごと訓練場



訓練の様子を見つめる住民ら =19日、徳之島町花徳(西悠宇撮影)

規模、エリア拡大住民「歯止めは…」

自衛隊拠点のない徳之島で異例だった訓練は、地元3町が関連施設を誘致する中で定着しつつある。3度目となった今回は規模もエリアも拡大し、島まるごと訓練場の様相を呈した。住民には経済効果を期待する声の一方、「歯止めが利かない」「戸惑いも聞かれる。」(一面参照)

徳之島で自衛隊演習

島内では10日から訓練が本格化。陸海空の部隊が海岸線を中心に15カ所以上で拠点をとり、幅広い訓練をこなす。島北部の手々海浜公園(徳之島町)には輸送機オスプレイが離着陸し、西部の景勝地・犬田布岬(伊仙町)では無人機「スキャンイーグル」が断崖上空から周囲を警戒した。19日に徳之島を初めて視察した吉田圭秀統合幕僚長は「これだけできるのは信じられない」と地元協力を感謝した。

北西部の天城町兼久であったサトウキビ畑へのパラシュート降下では、一帯の農家数十人が使用を承諾。実際に降りた畑には平均収益に基づき補償が支払われる。承諾した藤岡亨一さん(67)は「国のやることだから反対しても仕方がない。自分の所には降りない」

「訓練強化の筋は通る。今は物珍しから良いけど頻繁に来るのは困る。」

2010年の米軍普天間飛行場(沖縄県)の移設反対集会には約1万5千人が参加した。「あの情熱を忘れ、

自衛隊なら大丈夫となって「話をしたのは同町の自営業坂井留美子さん(73)。「今は米軍もセット。既に歯止めが利かなくなりつつある」とため息をついた。幼少期に空襲を経験した上木久市さん(85)は伊仙町面縄。国防は大事だが、軍用機を見るとやはり戦時を思い出す。不戦を誓った憲法は絶対に守ってほしい」と強調した。

奄美

徳之島



会見する吉田圭秀統合幕僚長 =19日、天城町兼久(大笹久光撮影)

「生地」と呼ばれる訓練場以外の場所でも、この規模の演習が続くのは異例。吉田氏は空港を使った戦闘機訓練などに触れた上で、「陸海空の統合はもちろん、宇宙やサイバーの領域も取り込めた」と総括した。(西悠宇)

今後にも訓練活用にも意欲

統合幕僚長 防衛省制服組トップの吉田圭秀統合幕僚長は19日、

南西諸島進む「戦域化」

台湾有事ミサイル網 対

中国による、を近く策定す 展開するの南西諸島、フ 国化した中国 温度差も。中 軍事協力を

「なぜ米陸軍を南西諸島に配置しないのか」。1月、東京・市谷の防衛省下にあるオペレーションーム内に同省制服組トツ吉田圭秀統合幕僚長の怒が響いた。

当時、日米は台湾有事テーマに、シミュレーション形式の共同統合演習「ーン・エッジ」を実施中。米海兵隊はこの間の日米打ち合わせ通り南西諸島展開した一方、米陸軍は

なし崩しの拡大懸念 軍事評論家の前田哲男さん 日米安全保障条約第6条は日本と極東の安全に寄与するため、米軍に日本の施設利用を認め

兆候つかみ避難を 海上自衛隊で笹川平和財団上席フェロー小原凡司さん 台湾有事の初動段階で、米軍は大規模な艦艇部隊や航空部隊が

住民「国のハラスメント」

騒音時間も頻度も増大必至

基地との共存を図ってきた宮崎県新富町が揺れている。F35ステルス戦闘機の垂直着陸訓練予定地だった西之表市馬毛島の基地建設の遅れを受け、防衛省が計画を一転、同町の航空自衛隊新田原基地で訓練する方針を示したから

宮崎・新富町

て、通常の戦闘機の着陸が約24秒なのに対し、F35Bの垂直着陸はホバリングを含め約2分を要する。騒音は着陸地点から約75分の場所約1300メートル、約300分の地点約1100メートルに相当する100デシベルを伴う。

新田原 F35B垂直着陸訓練計画



「住んでみる」。11日夜、防衛省が町内で開いた説明会で怒号が飛んだ。担当者は騒音を感じる時間について

基地と共存一転

新田原基地には現在、F15戦闘機が約40機配備され

オスプレイ 鹿屋で訓練

防衛省は7日、陸上自衛隊木更津駐屯地(千葉県)のV22オスプレイが、鹿屋市の海上自衛隊鹿屋航空基地で15日に空中機動訓練をする



同省は南西諸島へ部隊を展開するためにオスプレイを「極めて重要」と位置づけている。陸上幕僚監部によると、有事などの際に円滑に運用するためには、さまざまな場所で飛行、離着

長射程弾九州へ先行配備

反撃能力 南西防衛を強化

政府は、他国領内のミサイル基地などを破壊する反撃能力(戦域防衛能力)に備えるため、長射程ミサイルを開発し、九州に先行配備する方針だ。2025年度末、北朝鮮や中国に配備される長射程ミサイルを運用する

米軍機、県内着陸85回

識者「有事に使う可能性」

年	2020	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
福岡	59	68	94	71	59	25	71	60	43	41						
熊本	32	28	48	33	43	146	87	8	16	8						
宮崎	9	45	8	5	28	45	1	98	69	88						
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
種子島	38	4	7	5	20	14	28	49	50	19						
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0	0	72	13						
鹿児島	62	38	37	28	50	38	43	50	87	48						
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
鹿児島	3	5	0	0	0	0	10	0	12	4						
鹿児島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
鹿児島	2	4	3	2	6	2	3	0	5	8						
鹿児島	259	329	348	262	328	307	314	342	453	317						

24年度民間空港 全国上位2番目 鹿児島県は24年度(2024年度)の民間空港利用件数が全国で2番目に多いと発表された。

伊仙町総合グラウンド 離陸する陸上自衛隊のV22オスプレイ。2023年3月



12式対艦誘導弾 能力向上型のイメージ

25年度末 北朝鮮や中国射程内 想 定

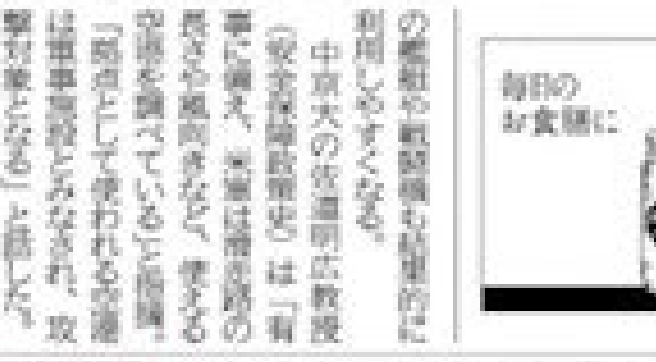
ズーム

反撃能力 南西防衛を強化 政府は、他国領内のミサイル基地などを破壊する反撃能力(戦域防衛能力)に備えるため、長射程ミサイルを開発し、九州に先行配備する方針だ。

安保 激変

米軍機、県内着陸85回 識者「有事に使う可能性」

24年度民間空港 全国上位2番目 鹿児島県は24年度(2024年度)の民間空港利用件数が全国で2番目に多いと発表された。



伊仙町総合グラウンド 離陸する陸上自衛隊のV22オスプレイ。2023年3月

与那国に對艦ミサイル

対空弾とセツト配備

防衛省模索町長は反対

【与那国】防衛省が対艦ミサイル「03式中距離対空誘導弾」(中距離)の配備計画を進めている。防衛省は、与那国駐屯地(与那国島)に「対艦ミサイル」の配備を模索している。町長は「対艦ミサイルの配備は、島の防衛に必要だが、住民の安全を脅かす」と反対している。

防衛省は、与那国駐屯地に「対艦ミサイル」の配備を模索している。町長は「対艦ミサイルの配備は、島の防衛に必要だが、住民の安全を脅かす」と反対している。

陸自駐屯地きょう10年

防衛省は、与那国駐屯地に「対艦ミサイル」の配備を模索している。町長は「対艦ミサイルの配備は、島の防衛に必要だが、住民の安全を脅かす」と反対している。

隊員が増えても閉校危機

防衛省は、与那国駐屯地に「対艦ミサイル」の配備を模索している。町長は「対艦ミサイルの配備は、島の防衛に必要だが、住民の安全を脅かす」と反対している。

与那国「防衛の目」

「ミサイルもつと」■「来たくなかった」

「国防」の陰で 第1部

陸自与那国配備10年

「与那国は、いわば日本の国防の『目』だ。かつて陸上自衛隊と那国駐屯地に赴任し、現在は防衛力強化政策に関わる自衛官の一人は語る。

2024年9月、中国海軍の空母「遼寧」が与那国島と西表島の間を航行した。25年4月には空母「山東」が与那国島の南海域で艦載機の発着を約70回繰り返した。



陸自配備から10年。与那国島では自衛隊のレーダーが増設されている=2月16日

自衛官の本音

台湾から約1100キロの与那国島。近年、中国軍艦が周辺海域を航行して太平洋に抜ける動きが常態化している。与那国駐屯地の沿岸監視隊は、周辺地の空・海域を24時間態勢で監視して情報収集を続けている。

自衛官は「有事になれば『目』がつかされて情報網を失う。そうならぬように守る必要がある」と強調する。

島には26年度に防衛省が「対艦ミサイル」の追加配備を模索する。防衛省は「台湾有事」に備え、自衛隊の能力向上を急速に進める。一

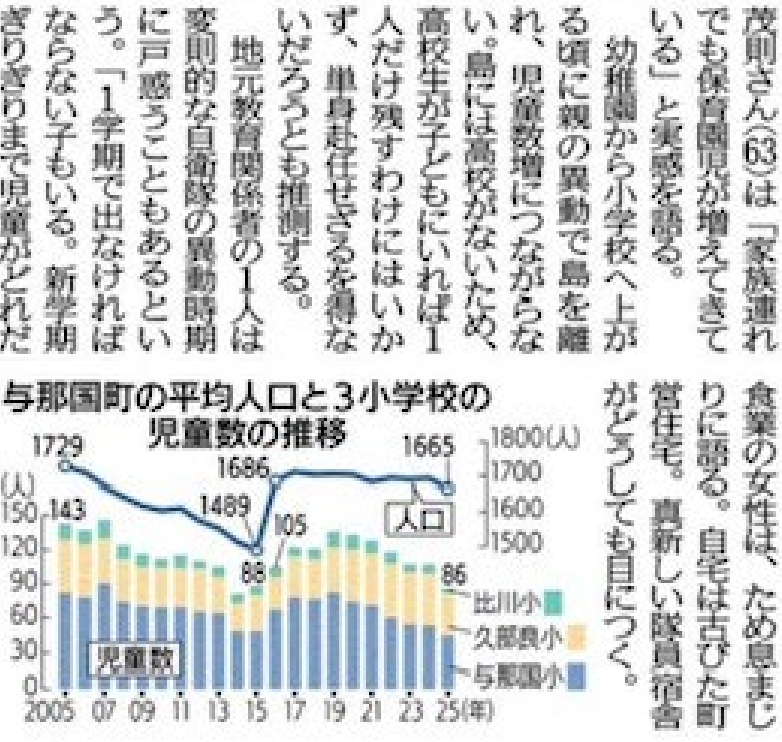
強化望む声 不安もにじむ

家も人材も足りず

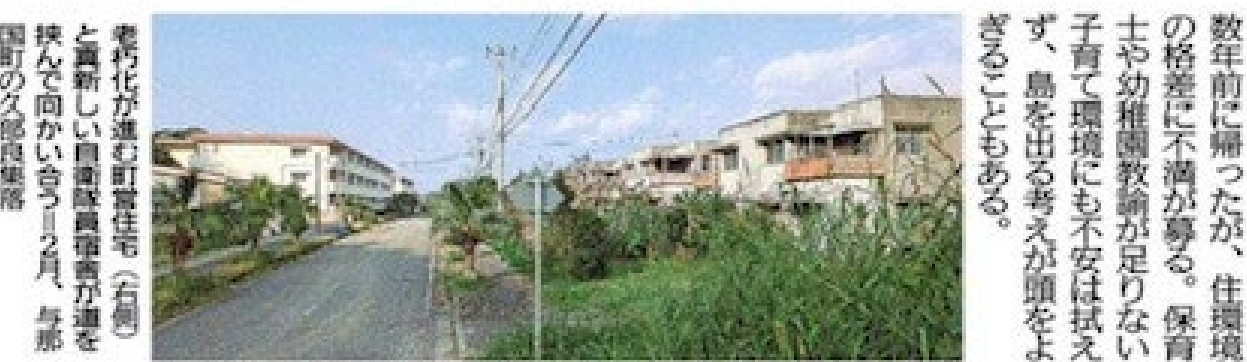
子どもが来ない

【与那国】防衛省が対艦ミサイル「03式中距離対空誘導弾」(中距離)の配備計画を進めている。防衛省は、与那国駐屯地(与那国島)に「対艦ミサイル」の配備を模索している。町長は「対艦ミサイルの配備は、島の防衛に必要だが、住民の安全を脅かす」と反対している。

防衛省は、与那国駐屯地に「対艦ミサイル」の配備を模索している。町長は「対艦ミサイルの配備は、島の防衛に必要だが、住民の安全を脅かす」と反対している。



自衛隊頼みだけでは



子育て不安 島出る考えも

三つあった幼稚園は2025年度から祖納集落にある。子どもが来ない。防衛省は、与那国駐屯地に「対艦ミサイル」の配備を模索している。町長は「対艦ミサイルの配備は、島の防衛に必要だが、住民の安全を脅かす」と反対している。

防衛省は、与那国駐屯地に「対艦ミサイル」の配備を模索している。町長は「対艦ミサイルの配備は、島の防衛に必要だが、住民の安全を脅かす」と反対している。

軍拡の波に困惑

誘致の島民

「国防」の陰で 第1部

陸自与那国配備10年

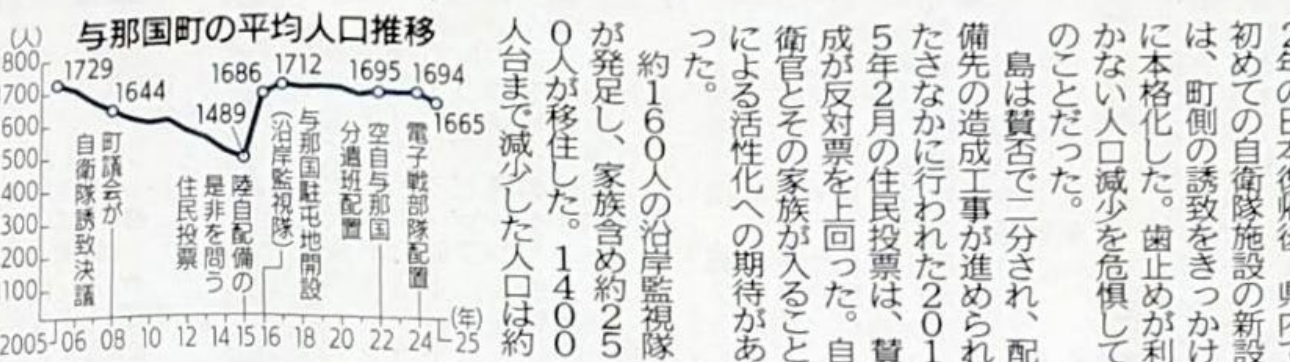
1面から続く

「見てちょうだい、あの鉄塔。とんどんとん大きくなってるみたい。この島、どうなるかね。」

冷たい風が吹く2月の朝。与那国町の祖納集落で出会った60代女性はつづき、少し表情をこぼらせた。



与那国駐屯地開設に合わせて新設された自衛隊庁舎がある祖納集落。宇良部岳から見下ろすように鉄塔がそびえ立つ=2月17日、与那国町



期待した活性化 進まず

国が必要ならやむを得ない

約1600人の沿岸監視隊が発足し、家族を含め約250人が移住した。1400人が台まで減少した人口は約1665人。

防衛省は「台湾有事」に備え、自衛隊の能力向上を急速に進める。一

駐屯地開設10年の与那国は、急速に軍事化が進み、住民は取り残されていく。いざという時に、自衛隊は住民を守らず、「全島避難」という名目で強制疎開させるといふ。そもそも、自衛隊は地域活性化のために配備されるわけではない。

台湾有事は存立危機事態

首相「武力行使伴えば」

衆院予算委

高市早苗首相は7日、就任後初の衆院予算委員会で、中国が台湾に武力で侵攻する事態「台湾有事」を巡り、安全保障関連法の規定で集団的自衛権の行使が可能となる「存立危機事態」に当たるかどうか問われ、状況次第で該当するとの見解を示した。「戦艦を使い、武力の行使も伴うものであれば、存立危機事態になり得るケースだと考える」と

述べた。財政健全化の指標である基礎的財政収支(プライマリーバランス、PB)の黒字化目標への考え方は見直すと明言した。(2面に関連記事、7面に論戦のポイント)
首相は台湾を巡る環境に触れ「深刻な状況に至っている。最悪の事態を想定しなければならぬ」と説明した。
2015年成立の安保関

連法では、政府が存立危機事態と認定すれば、日本を

防衛相、先島を視察

石垣市長と面談 防衛力強化を強調

小泉進次郎防衛相は22日、陸上自衛隊の駐屯地がある宮古島と石垣島を相次いで訪れ、両市長と面談した。「わが国は戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面している」と述べ、南西諸島の防衛力強化に理解を求めた。

「戦後最も厳しい安保環境」

小泉氏は中山義隆市長との面談の冒頭、安全保障環境に言及した上で「国民の命と平和な暮らしを守り抜



中山市長との面談の冒頭であいさつする小泉防衛相
=22日午後6時半ごろ、石垣市役所内

みて「大規模災害や国民保護への対応の迅速化につながる」との認識も示した。
中山市長は「防衛大臣が八重山に足を運んでいただいたことは国境離島を守る首長として大変心強い」と歓迎した。
自衛隊の「南シフト」で先島に駐屯地が整備され、米軍の空母・潜湾使用も常態化するなど、基地負担軽減に逆行している状況を記者団から問われ、小泉氏は「現下の厳しい安全保障環境を踏まえれば南西諸島を含むわが国の防衛体制の強化は喫緊の課題」と指摘、「沖縄の基地負担の軽減に全力で取り組みつつ、南西地域の防衛体制の強化も進めていく」と述べた。
高市政権発足後、防衛大臣として初来県となるが、県知事より先に先島の両市長と面談したことについては「最前線の現場で自らの

抗議市民に「許可を取れ」

宮古島の陸自トッパが怒声



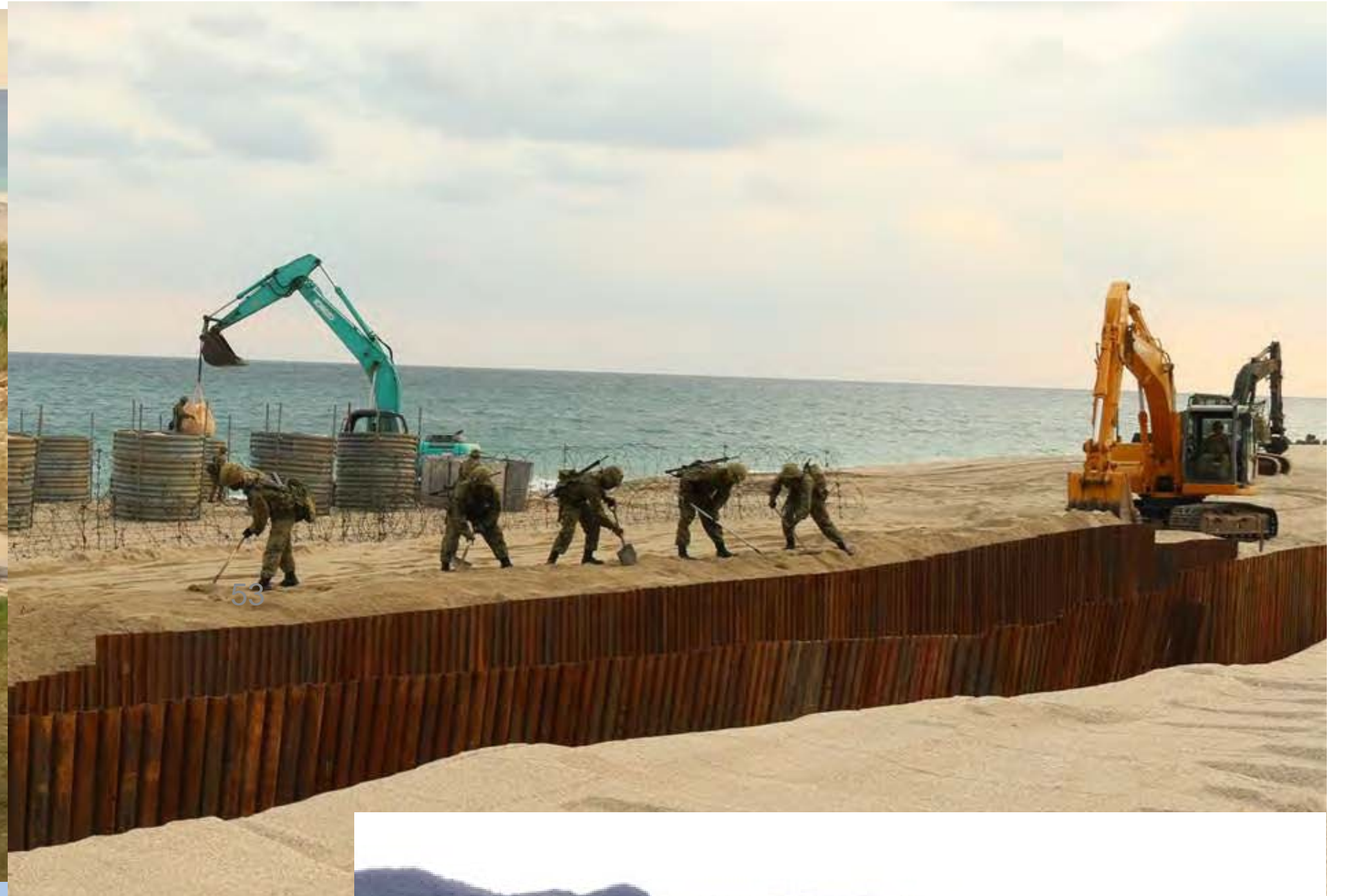




2020年頃には、多くの住民が街頭に出ていたが . . .



南種子町の海浜公園と海岸で行われた自衛隊演習に、抗議活動を行わなかった過去。アイアン・フィスト抗議に控えめな現在。いいのか？





馬毛島基地反対裁判支援のクラウドファンディング（CALL4）に是非ご協力をお願いします。

売却された土地の鑑定評価に300万円必要です。

原告や弁護士が鹿児島地裁や福岡高裁宮崎支部に出向く交通費などもかかります。 **ご協力をお願いします！！**



平和の島であるために



馬毛島の自然と自治を守る裁判

まげしま

